

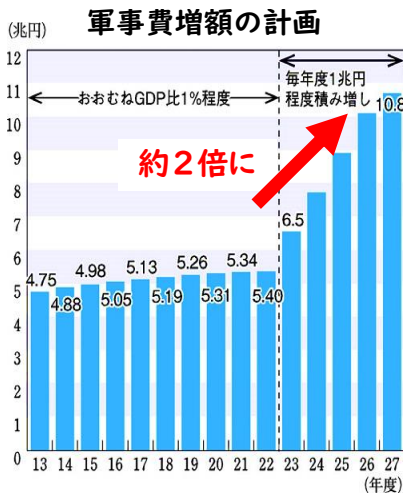


政府は16日、「国家安全保障戦略」など安保3文書を閣議決定しました。歴代政権が違憲としてきた敵基地攻撃能力(「反撃能力」)の保有を明記しました。トマホークなどミサイルが配備されるのは東シナ海。もう一度皆さん地図を見直して下さい。沖縄はじめ琉球地域を前線基地にして守るのは日本国土ではありません。アメリカの行なう戦争の肩代わりをさせられるというところ。そもそもこんなところからミサイル打ち込んだら、日本中が戦火に巻き込まれること必死です。

安保3文書の柱	
国家安全保障戦略	最上位の戦略文書。戦後安保政策を实践面から大きく転換。「反撃能力」を定義、軍事費「GDP 2%」を明記
国家防衛戦略 (旧防衛計画の大綱)	「防衛目標」の設定と方法、手段を明記。期間はおおむね10年。重視する能力として、①スタンド・オフ防衛②統合防空ミサイル防衛③無人アセット④領域横断作戦⑤指揮統制⑥機動展開・国民保護⑦強靱(きょうじん)性・持続性の7項目を明記
防衛力整備計画 (旧中期防衛力整備計画)	10年後の体制を念頭に5年間の経費総額、装備品の数量など記載。23~27年度で軍事費総額43兆円。敵基地攻撃兵器などの導入計画を記載

戦争への道 勝手に決めないで下さい

戦争はしてはならない。ましてや先制攻撃を許してはなりません。財源は富裕層や大企業すり抜けて、国民負担でと言っているのではありません。国民負担が税金であっても、社会保障費削減であっても、その両方であっても、私たちの生活に重くのしかかる負担であることに違いはありません。そんな余力が今国民にありますか？  
ワールドカップで対戦したコストリカは軍隊を持たない非戦の国です。武力を持たない事で平和を希求しています。コストリカを攻める国があるでしょうか。逆に平和憲法を持ち戦争をしないと誓いながら他所の国に銃口を向ける日本を他国は信用するでしょうか。威嚇すれば攻められないなどという論の方が私には「亡国論」だと思えます。



プレミアム付き商品券9,000円分  
18才までの子どもたちに無償配布

補正予算の上程なし(流用)、議会での議決なしという、議会軽視に抗議します。

余った商品券分に予算を足して(約6千万円)、子育て世代にこどもの人数に応じて配布しました。この物価高騰の中、所得制限なく、みんなに配られることはとてもいいことだと思います。

紙とデジタルのプレミアム度の差別など問題点の多い制度だったデジタル商品券。手続きが難しくうまく使用できない方が出たのでは、と心配です。どうでしょうか？

結局商品券を申し込みしたものの手続きできず、水の泡にしてしまった方はいませんか？

救済がどうなるのかも課題です。

家族が熱を出し、備蓄していた検査キットでコロナの陽性が出ました。発熱外来に電話がつかなくなったり電話してもすでに予約いっぱい受診できない。1時間以上かけやっと病院を見つけ検査。その後保健所からの電話もきました。幸い私は隔離や消毒などもすぐにできたため、感染しませんでした。家族は解熱剤使っても熱が下がらず本心に心配でした。

感染者がひとり暮らしだったらと考えるとぞっとします。食品と検査キットの備蓄、家族人数分の体温計は緊急時対応として必要だと感じました。  
国は責任もってコロナの検査キットをみんなに配布してください。人の流れが増える年末年始、インフルエンザの同時流行も心配です。

感染の拡大に見合う医療検査体制を



この関係で12/1に塩町公会堂で予定していたおしゃべり会(報告会)は延期しました。年明けに企画し直しさせていただきます。